



VMware 仮想マシンにおける Cisco ISE 3300 シリーズ ソフトウェアのインストール

この章では、VMware 仮想マシンにおける Cisco Identity Services Engine (ISE) 3300 シリーズ アプ ライアンス ソフトウェアのインストールのシステム要件について説明します。次のトピックで、イン ストール プロセスに関する情報を提供します。

- 「仮想マシン要件」(P.4-1)
- 「Cisco ISE リリース 1.1 の評価」(P.4-3)
- 「VMware ESX または ESXi サーバの設定」(P.4-4)
- 「VMware サーバの設定」(P.4-7)
- 「Cisco ISE ソフトウェアのインストールのための VMware システムの準備」(P.4-12)
- 「VMware システムへの Cisco ISE ソフトウェアのインストール」(P.4-14)
- 「シリアル コンソールを使用した Cisco ISE VMware サーバへの接続」(P.4-15)



インライン ポスチャ ノードは、Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスでのみサポートされています。 VMware サーバ システムではサポートされません。その他の指定されたロールはすべて、VMware 仮想 マシン上での使用がサポートされています。

仮想マシン要件

仮想マシンの最小システム要件は、Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンス ハードウェアの設定と同様である必要があります。表 4-1 に、VMware 仮想マシンに Cisco ISE 3300 シリーズ ソフトウェアを インストールするための最小システム要件を示します。

表 4-1 最小 VMware システム要件

要件のタイプ	最小要件
CPU	Intel デュアルコア、2.13 GHz 以上
メモリ	4 GB RAM

要件のタイプ	最小要件
ハードディスク	60 ~ 600 GB のディスク ストレージ (サイズは配置およびタスクによって異なります)
	(注) Cisco ISE は、VMware 内の単一のディスクにインストールする必要 があります。インストールのディスク領域要件を満たすために複数の 小さいディスクを使用すると、予期せぬ動作が発生する場合がありま す。
ディスク コントロー ラ	SCSI コントローラ
NIC	1 GB の NIC インターフェイスが必要(4 つの NIC を推奨)
	 (注) 設定する任意の NIC のネットワーク接続の作成時は、必ず [アダプタ (Adapter)]ドロップダウン リストから対応する Flexible ネットワー ク アダプタを選択してください。このリリースでは、Cisco ISE はす べての NIC の Flexible ネットワーク アダプタをサポートしています。 「VMware サーバの設定」(P.4-7)のステップ 9を参照してください。
ハイパーバイザ	サポートされている VMware のバージョンは次のとおりです。
	• VMware ESX 4.0、4.0.1、4.1
	• VMware ESXi 4.0、4.0.1、4.1

表 4-1 最小 VMware システム要件 (続き)



VMware サーバ バージョン 2.0 は、Cisco ISE リリース 1.0 の機能のデモンストレーションでのみサ ポートされており、実稼働環境ではサポートされていません。

(注) VMware サーバ上で Cisco ISE ソフトウェアを実行する際、評価と実稼働の目的では異なる種類のライセンスが必要になります。ライセンスの詳細については、「ライセンスのインストール」(P.6-1)を参照してください。

表 4-2 に、実稼働環境の配置で VMware サーバを実行するために必要な、最小 Cisco ISE ハード ディ スク領域割り当て要件を示します。実稼働環境の配置では、Cisco ISE ソフトウェアの実行に表 4-1 に リストされている、サポートされている VMware ESX および ESXi サーバ バージョンを使用してくだ さい。

表 4-2 実稼働環境での最小 VMware ディスク領域要件

ISE ペルソナ	実稼働環境での最小ディスク領域要件
スタンドアロン ISE	200 GB
管理	200 GB
	200 GB
管理および監視	200 GB
ポリシー サービス	60 GB



VMware サーバで監視ペルソナをイネーブルにして Cisco ISE ソフトウェアを実行している場合、小規 模、中規模および大規模の実稼働環境の配置でサポートされる最小ハード ディスク領域割り当ては 200 GB です。

Cisco ISE は、VMware 内の単一のディスクにインストールする必要があります。インストールのディ スク領域要件を満たすために複数の小さいディスクを使用すると、予期せぬ動作が発生する場合があり ます。

Cisco ISE リリース 1.0 インストーラは、Cisco ISE ハードウェア アプライアンスでサポートされる最 大と等しい最大まで、VMware サーバに割り当てられているすべてのディスク領域を使用するように 設計されています。つまり、600 GB を超える VMware サーバを作成する場合、Cisco ISE がすべての 配置タイプに割り当てる最大ディスク領域は 600 GB になります。

残りのディスク領域はパーティション化されないままです。次に例を示します。

- VMware サーバが 200 GB のディスク領域割り当てで作成された場合、Cisco ISE インストーラは 200 GB を使用に割り当てます。
- VMware サーバが1テラバイト(TB)のディスク領域割り当てで作成された場合、Cisco ISE インストーラは許可される最大(600 GB)まで割り当てます。
- VMware サーバが 40 GB のディスク割り当てで作成された場合、サイズ割り当てがサポートされているディスク領域割り当ての 60 GB を下回っているため、Cisco ISE インストーラは失敗します。

(注)

100 ユーザのみをサポートする評価環境で VMware サーバを実行するための Cisco ISE のハード ディ スク領域割り当ての要件は 60 GB です。ただし、VMware サーバを多数のユーザをサポートする実稼 働環境に移動する場合は、必ず表 4-2 にリストされている推奨される最小ディスク サイズ以上(許可 される最大の 600 GB まで)に Cisco ISE のインストールを再構成してください。

Cisco ISE リリース 1.1 の評価

評価目的の場合、Cisco ISE リリース 1.0 は「仮想マシン要件」(P.4-1)を満たし、サポートされてい る任意の VMware サーバ仮想マシンにインストールできます。Cisco ISE リリース 1.0 を評価する際 に、仮想マシンにあまり多くのディスク領域を設定する必要はありませんが、少なくとも 60 GB の最 小ディスク領域を割り当てる必要があります。

評価のために Cisco ISE リリース 1.0 ソフトウェアをダウンロードするには、次の手順を実行します。

ステップ1 次のリンクに移動します。

http://www.cisco.com/go/ise (このリンクにアクセスするには、有効な Cisco.com ログイン クレデン シャルを持っている必要があります)。

ステップ 2 [ソフトウェアのダウンロード (Download Software)] をクリックします。

Cisco ISE リリース 1.0 ソフトウェア イメージには、90 日間の評価ライセンスがすでにインストールさ れた状態で付属しているため、設置および初期設定が完了すると、すべての Cisco ISE サービスのテス トを開始できます。

(注)

評価環境での VMware サーバのインストールがサポートされています。評価環境と実稼働環境の配置 で、使用する VMware サーバに必要な最小ディスク領域要件の違いはありません。Cisco ISE でサポー トされる最小の VMware サーバのインストールには 60 GB のディスク領域が必要です。

評価システムから完全ライセンスを持つ実稼働環境のシステムに Cisco ISE 設定を移行するには、次の タスクを実行する必要があります。

- 評価版の設定をバックアップする
- 実稼働環境への展開ライセンスをインストールする
- 実稼働環境のシステムに設定を復元する
- インストール用のディスク領域を増やす(可能な場合)



100 ユーザのみをサポートする評価環境で VMware サーバを実行するための Cisco ISE のハード ディ スク領域割り当ての要件は 60 GB です。ただし、VMware サーバを多数のユーザをサポートする実稼 働環境に移動する場合は、必ず表 4-2 にリストされている推奨される最小ディスク サイズ以上(許可 される最大の 600 GB まで)に Cisco ISE のインストールを再構成してください。

VMware ESX または ESXi サーバの設定

サポートされている VMware サーバに Cisco ISE をインストールするには、VMware 仮想マシンに 60 GB の最小ディスク領域を割り当てる必要があります。この項では、VMware 仮想マシン上で必要な最 小ディスク領域を設定する(VMware 仮想マシン上でディスク領域サイズを変更し、VMware ESX サーバにログインする)方法について説明します。この項では、重要な設定に関連するタスクの実行手 順を示します。



ストレージタイプとして VMware シン プロビジョニングを選択しないでください。Cisco ISE ソフ トウェアの本リリースでは、サポートされている VMware サーバ (VMware バージョン ESX 4.x または ESXi 4.x) でのストレージタイプとしての VMware シン プロビジョニングの使用はサポー トされていません。これはデフォルトではなく、ステップ 10 のシン プロビジョニングのチェック ボックスの選択について助言しています (図 4-11 を参照)。

(注)

次の手順を実行するには、ログインする必要があります。最初のログインの実行の詳細については、 「ログイン」(P.6-8)を参照してください。

ディスク割り当てを確認または変更するには、次の手順を実行します。

ステップ1 [設定 (Configuration)]>[メモリ (Memory)] を選択し、[プロパティ (Properties)]を選択しま す。

ブロック サイズが 256 MB の場合は、4 GB に変更する必要があります。

ステップ 2 ブロック サイズを 4 GB に変更するには、[設定 (Configuration)]>[メモリ (Memory)]を選択しま す。

```
<u>》</u>
(注)
```

VMware 仮想ファイル システム(VMFS)が、VMware ホストで設定されている各ストレージボリュームに設定されていることに注意することが重要です。つまり、VMFS ブロック サイズの選択では、
 VMware ホスト上でホストされる最大の仮想ディスク サイズを考慮する必要があります。ブロック サイズを設定すると、VMFS パーティションを再フォーマットしないと変更することができません。

デフォルト設定を削除するには、次の手順を実行します。

- **ステップ1** [削除 (Remove)]をクリックします。 確認ウィンドウが表示されます。
- **ステップ2** [はい(Yes)]をクリックします。 デフォルト設定が削除されます。

新しい仮想ファイル サイズを作成するには、次の手順を実行します。

ステップ1 [設定 (Configuration)]>[ストレージ (Storage)]>[ストレージの追加ウィザード (Add Storage Wizard)]を選択します。

[ストレージの追加(Add Storage)]ウィザードは[設定(Configuration)]ウィンドウの右上隅にあります。

Hardware	Storage		R	efresh Remove	Add Storage
Processors Memory • Storage Networking Storage Adapters Network Adapters	Identification	Device vmhba0:0:0:3	Capacity 519.75 GB	Free 19.20 GB	Type vmfs3
Software Licensed Features Time Configuration DNS and Routing Virtual Machine Startup/Shutdown	Details ds1 Location: /vmfs/	volumes/4a2e983c-7	519.75 GB 500.55 GB 19.20 GB	Capacity Used Free	Properties
Virtual Machine Swapfile Location Security Profile System Resource Allocation Advanced Settings	Path Selection Fixed Paths Total: 1	Properties Volume Label: Datastore Name: Formatting	Ext ds1 vn ds1 To	ents hba0:0:0:3 tal Formatted Capac	520.00 tity 519.75

図 4-1 [設定 (Configuration)] ウィンドウ

- ステップ2 [ストレージタイプ (Storage Type)]ドロップダウン リストから、[ディスク/LUN (Disk/LUN)]を 選択して、[次へ (Next)]をクリックします。
- **ステップ3** ディスク領域サイズに [60 GB]、VMFS ブロック サイズに [2 MB] を選択し、[次へ (Next)]を選択 します。

60 GB は、VMware と Cisco ISE のインストールに必要な最小ディスク領域です。ただし、VMware システムで余分な領域を割り当てた場合でも、Cisco ISE は最大 600 GB のみを使用します。設定する 値は、展開に応じて、60 ~ 600 GB でなければなりません。

(注) デフォルトの VMFS 1 MB ブロック サイズを選択した場合、VMware ホスト上の仮想マシンに 600 GB の ディスク領域を作成することはできません。VMFS ファイル システムの作成中に 2 MB の VMFS ブロッ ク サイズを選択することによってのみ、最大 600 GB の仮想マシンのディスク領域を設定できます。

ステップ 4 [終了 (Finish)] をクリックします。

60 GB の仮想ディスク サイズと 2 MB のブロック サイズを持つ新しい VMware システムが正常に作成 されます。

新しいファイル サイズを確認するには、[設定(Configuration)]>[メモリ(Memory)]を選択して[プロパティ(Properties)]をクリックします。

図 4-2 に、ds1 という名前で作成されるディスク領域のプロパティを示します。

General		Format		
Datastore Name: ds1		File System:	VMFS 3.31	
		Maximum File Size:	512 GB	
	Change	Block Size:	2 MB	
xtents		Extent Device		
A VMFS file system can span multiple har o create a single logical volume.	d disk partitions, or extents,	The extent selected on th described below.	e left resides on the LUN or p	hysical disk
Extent	Capacity	Device	Capacity	~
vmhba0:0:0:3	520.00 GB	vmhba0:0:0	546.80 GB	
		Primary Partitions	Capacity	
		1. Linux native	95.63 MB	
		2. Linux native	4.88 GB	
		3. VMFS	520.00 GB	
		4. Extended	2.56 GB	
		Logical Partitions	Capacity	
		5. Linux swap	537.89 MB	~
			De la	- D - 4

図 4-2 ディスク領域のプロパティ ウィンドウ

VMware システム上で Cisco ISE Profiler サービスを適切に動作させるには、VMware ESX または ESXi サーバ上で VMswitch0 および VMswitch1 インターフェイスを設定する必要があります(図 4-3 (P.4-7) を参照)。

Cisco ISE Profiler サービスをサポートするように VMware サーバ インターフェイスを設定するに は、次の手順を実行します。

 ステップ1 [設定 (Configuration)]>[ネットワーキング (Networking)]>[プロパティ (Properties)]>
 [VMNetwork] (VMware サーバインスタンスの名前)>[VMswitch0] (VMware ESX サーバインター フェイスの1つ)>[プロパティ (Properties)]>[セキュリティ (Security)]を選択します。

- **ステップ2** [セキュリティ (Security)] タブの下の [ポリシー例外 (Policy Exceptions)] ペインで [無差別モード (Promiscuous Mode)] チェックボックスをオンにします。
- **ステップ3** 隣接するドロップダウンリストボックスで[承認(Accept)]を選択して、[OK]をクリックします。 VMswitch1上で同じ手順を繰り返します(もう一方の VMware ESX サーバインターフェイス)。

図 4-3 [VMNetwork プロパティ(VMNetwork Properties)] ウィンドウ

🕼 YM Network Properties		
General Security Traffic Shap	ng NIC Teaming	
Promiscuous Mode : MAC Address Changes: Forged Transmits :	Accept Accept Accept Accept	
	OK Ca	230156

VMware サーバの設定

この項では、VMware Infrastructure Client を使用して VMware サーバを設定する方法について説明します。

前提条件

Cisco ISE ソフトウェアのインストール前に、VMware 仮想マシンに最小で 60 GB の割り当てられた ディスク領域があることを確認します。詳細については、「VMware ESX または ESXi サーバの設定」 (P.4-4) を参照してください。 VMware Infrastructure Client を使用して VMware サーバを設定するには、次の手順を実行します。

- **ステップ1** ESX サーバにログインします。
- **ステップ 2** VMware Infrastructure Client の左側のペインで、ホスト コンテナを右クリックして、[新規仮想マシン (New Virtual Machine)]を選択します。

[新規仮想マシン(New Virtual Machine)] ウィザードが表示されます。

ステップ3 [設定タイプ (Configuration Type)]ダイアログボックスで、図 4-4 に示すように VMware 設定として[標準 (Typical)]を選択して、[次へ (Next)]をクリックします。

図 4-4 [仮想マシンの設定(Virtual Machine Configuration)] ダイアログボックス

æ	Typical	
	Create a new virtual machine with the most common devices and configuration options.	
c	Custom	
	Choose this option if you need to create a virtual machine with additional devices or specific configuration options	

[名前と場所(Name and Location)]ダイアログボックスが表示されます。(図 4-5)。

ステップ 4 VMware システムを参照するための名前を入力して、[次へ(Next)]をクリックします。

図 4-5 [名前と場所 (Name and Location)] ダイアログボックス

an al	
561.01	

ニント VMware ホストに使用するホスト名を使用します。

[データストア (Datastore)]ダイアログボックスが表示されます。(図 4-6)。

- **ステップ 5** 最小で 60 GB の空きスペースが使用可能なデータストアを選択して、[次へ(Next)]をクリックしま す。
 - 図 4-6 [データストア(Datastore)] ダイアログボックス

Name	Capacity	Free	Туре	Access	98
[ds1]	519.75 GB	519.20 GB	VMFS	Single host	24.7

[ゲスト オペレーティング システム (Guest Operating System)] ダイアログボックスが表示されます。 (図 4-7)。

ステップ6 [Linux] をクリックし、[バージョン(Version)] ドロップダウン リストから [Red Hat Enterprise Linux 5 (32 ビット)(Red Hat Enterprise Linux 5 (32-bit))] を選択します。

図 4-7 [ゲスト オペレーティング システム(Guest Operating System)] ダイアログボックス

Configuration Name and Location	Guest Operating System:	
Datastore Guest Operating System Create a Disk Ready to Complete	Microsoft Windows Linux Novell NetWare Solaris	
	C Other Version: Red Hat Enterprise Linux 5 (32-bit) Identifying the guest operating system here allows the wizard to provide the appropriate defaults for the operating system installation.	39155

[仮想プロセッサの数 (Number of Virtual Processors)]ダイアログボックスが表示されます。 (図 4-8)。

ステップ7 [仮想プロセッサの数 (Number of Virtual Processors)]ドロップダウン リストから [2] (2 が使用可能 な場合)を選択します。1 を選択することもできます。[次へ (Next)]をクリックします。

図 4-8 [仮想プロセッサの数(Number of Virtual Processors)] ダイアログボックス

Number of virtual processors: 2 로 성

[メモリ設定(Memory Configuration)]ダイアログボックスが表示されます。(図 4-9)。

ステップ8 4096 MB と入力して、[次へ(Next)]をクリックします。

図 4-9 [メモリ設定 (Memory Configuration)] ダイアログボックス

	[4096	MB
			2
4	65532		- 22
	Δ		247

[NIC 設定(NIC Configuration)]ダイアログボックスが表示されます。(図 4-10)。

ステップ 9 [NIC 1] を選択して [次へ (Next)] をクリックします。

(注) 設定する任意の NIC のネットワーク接続の作成時は、必ず [アダプタ(Adapter)] ドロップダ ウン リストから対応する Flexible ネットワーク アダプタを選択してください。このリリース では、Cisco ISE はすべての NIC の Flexible ネットワーク アダプタをサポートしています。

図 4-10 [NIC 設定 (NIC Configuration)] ダイアログボックス

	Network	Adapter	Connect at Power On
VIC 1:	VM Network	Flexible	• IV

[仮想ディスク容量(Virtual Disk Capacity)]ダイアログボックスが表示されます。(図 4-12)。

図 4-11 [ディスク プロビジョニング(Disk Provisioning)] ダイアログ ボックス

🕗 Create New Virtual Machine	•		
Create a Disk Specify the virtual disk size	e and provisioning policy	Vir	tual Machine Version: 7
Configuration Name and Location Host / Cluster Datastore Virtual Machine Version Guest Operating System CPUs Memory Network SCSI Controller Select a Disk Create a Disk Advanced Options Ready to Complete	Capacity Disk Size: 200 🖆 GB 💌 Disk Provisioning Allocate and commit space on demand (Thin Provisioning) Support dustering features such as Fault Tolerance Location Store with the virtual machine Specify a datastore:	Browse	
Help	_ < Ba	k Next >	Cancel

ステップ 10 [ディスク プロビジョニング (Disk Provisioning)]ダイアログボックスで [スペースをオンデマンドで割り当てて確定 (シン プロビジョニング) (Allocate and commit space on demand (Thin Provisioning))]
]チェックボックスをオンにしないでください (図 4-11)。[次へ (Next)]をクリックして続行します。

[仮想ディスク容量(Virtual Disk Capacity)]ダイアログボックスが表示されます。(図 4-12)。

注意

ストレージタイプとして VMware シン プロビジョニングを選択しないでください。Cisco ISE ソフ トウェアの本リリースでは、サポートされている VMware サーバ(VMware バージョン ESX 4.x または ESXi 4.x)でのストレージタイプとしての VMware シン プロビジョニングの使用はサポー トされていません。これはデフォルト設定ではありません。図 4-11 では、シン プロビジョニング のチェックボックスの選択について助言しています。

ステップ 11 [ディスク サイズ (Disk Size)]フィールドに 500 GB と入力して、[次へ (Next)]をクリックします。

図 4-12 [仮想ディスク容量(Virtual Disk Capacity)] ダイアログボックス

Dahadana	a.	
Dalastore:	Jusi	
Available Space (GB):	519.2	
Disk Size:	500 🛨 GB 💌	7267

[新規仮想マシンを完了する準備ができました(Ready to Complete New Virtual Machine)] ダイアロ グボックスが表示されます。(図 4-13)。 **ステップ 12** 新規作成された VMware システムの名前、ゲスト OS、仮想 CPU、メモリ、および仮想ディスク サイ ズなど、設定の詳細を確認します。

図 4-13 [完了する準備ができました(Ready to Complete)] ダイアログボックス

Name:	ISE1.0	
Host/Cluster:	acsvw-185-dl380.cisco.com	
Resource Pool:	Resources	
Datastore:	ds1	
Guest OS:	Linux Other Linux (32-bit)	
Virtual CPUs:	2	
Memory	4096 MB	
NICs:	1	
NIC 1 Network:	VM Network	
Virtual Disk Size:	500 GB	
		2
		ň

ステップ 13 [終了 (Finish)]をクリックします。

これで、VMware システムがインストールされました。

新たに作成した VMware システムをアクティブにするには、左側のペインで VM を右クリックして、[電源オン (Power On)]を選択します。

Cisco ISE ソフトウェアのインストールのための VMware システムの準備

VMware システムを設定すると、Cisco ISE ソフトウェアをインストールする準備ができる状態になり ます。Cisco Identity Services Engine ISE VM Appliance (ISE Software Version 1.1.0.xxx) DVD から Cisco ISE ソフトウェアをインストールするには、VMware システムを Cisco ISE DVD からブートす るように設定する必要があります。これには、VMware システムが仮想 DVD ドライブを使用して Cisco Identity Services Engine ISE VM Appliance (ISE Software Version 1.1.0.xxx) DVD からブートす るように設定する必要があります。

これは、ご使用のネットワーク環境に応じて異なる方法を使用して実行できます。VMware ESX サー バホストの DVD ドライブを使用して VMware システムを設定するには、「Cisco Identity Services Engine ISE ソフトウェア DVD を使用した VMware システムの設定」(P.4-12) を参照してください。

Cisco Identity Services Engine ISE ソフトウェア DVD を使用した VMware システムの設定

この項では、VMware ESX サーバ ホストの DVD ドライブを使用して、*Cisco Identity Services Engine ISE VM Appliance (ISE Software Version 1.1.0.xxx)* DVD から VMware システムを起動するように設定 する方法について説明します。

DVD ドライブを使用して VMware システムを設定するには、次の手順を実行します。

ステップ1 VMware Infrastructure Client で、新たに作成した VMware システムを強調表示して、[仮想マシン設定の編集(Edit Virtual Machine Settings)]を選択します。

[仮想マシンのプロパティ(Virtual Machine Properties)] ウィンドウが表示されます。図 4-14 に、 Cisco ISE リリース 1.0 の名前で作成される VMware システムのプロパティを示します。

図 4-14 [仮想マシンのプロパティ(Virtual Machine Properties)] ダイアログボックス

🝘 ACS5.1 - Virtual Machine	Properties	
Hardware Options Resources		Virtual Machine Version: 4
Hardware CPUs Floppy Drive 1 CD/DVD Drive 1 Network Adapter 1 SCSI Controller 0 Hard Disk 1	Summary 4096 MB 2 Client Device Client Device VM Network LSI Logic Virtual Disk	 Specify the amount of memory allocated to this virtual machine. The memory size must be a multiple of 4MB. Memory for this virtual machine: 4096 MB 4096 MB 4096 MB A 65532 A A 8204 A 82532 A A 8254 A 8254 A 825532 A A 825532 A A 825532 A A 826 MB 92 MB 92 MB 92 MB 92 MB 94 Recommended memory 256 MB 92 Guest 0S recommended maximum 65532 MB 94 Maximum for best performance 10236 MB VMware's recommended maximum memory for any Linux guest 0S is based on the least capable kernels for that Linux distibution and version number. Some kernel versions can support larger memory sizes. Consult your Linux release notes to see if your kernel can use a larger memory setting.
Add Remove		
Help		OK Cancel

ステップ 2 [仮想マシンのプロパティ (Virtual Machine Properties)]ダイアログボックスで、[CD/DVD ドライブ 1 (CD/DVD Drive 1)]を選択します。

[CD/DVD ドライブ 1 のプロパティ (CD/DVD Drive1 properties)] ダイアログボックスが表示されます。

- **ステップ3** [ホスト デバイス (Host Device)]オプションを選択して、ドロップダウン リストからご使用の DVD ホスト デバイスを選択します。
- ステップ4 [電源オンで接続(Connect at Power On)]オプションを選択して、[OK]をクリックして設定を保存します。

これで、VMware ESX サーバの DVD ドライブを使用して、Cisco ISE ソフトウェアをインストールで きるようになりました。

設定が完了したら、[コンソール (Console)]タブをクリックして、左側のペインから [VM] を右ク リックして、[電源 (Power)]、[リセット (Reset)]の順に選択して、VMware システムを再起動し ます。

VMware システムへの Cisco ISE ソフトウェアのインス トール

この項では、VMware ESX 4.x への Cisco ISE ソフトウェアのインストール プロセスについて説明します。

VMware システムに Cisco ISE ソフトウェアをインストールするには、次の手順を実行します。

- **ステップ 1** VMware Infrastructure Client にログインします。
- ステップ2 BIOS で協定世界時(UTC)が設定されていることを確認します。
 - a. VMware システムの電源がオンになっている場合は、システムの電源をオフにします。
 - **b.** VMware システムの電源をオンにします。
 - **c.** F1 を押して、BIOS セットアップ モードにします。
 - **d.** 矢印キーを使用して、[日付と時刻(Date and Time)]に移動し、Enter を押します。
 - e. アプライアンスの時刻を UTC/ グリニッジ標準時(GMT)時間帯に設定します。

(注)

すべての Cisco ISE ノードを UTC 時間帯に設定することを推奨します。この時間帯設定により、展開におけるさまざまなノードからのレポートおよびログが、タイムスタンプで常に同期 されるようになります。

- f. Esc を押して、メイン BIOS メニューを終了します。
- g. Esc を押して、BIOS セットアップ モードを終了します。

(注)

インストール後に、永続ライセンスをインストールしない場合、Cisco ISE は自動的に最大 100 エンドポイントをサポートする 90 日間の評価ライセンスをインストールします。

ステップ3 VMware ESX ホストの CD/DVD ドライブに *Cisco ISE VM Appliance (ISE Software Version 1.1.0.xxx)* DVD を挿入し、仮想マシンの電源をオンにします。



(注) この DVD へのアクセス権がない場合は、Cisco Software Download サイト (http://www.cisco.com/public/sw-center/index.shtml) から Cisco ISE リリース 1.1 ソフトウェ アをダウンロードします。Cisco.com クレデンシャルの提供が求められます。

Cisco Identity Services Engine ISE VM Appliance (ISE Software Version 1.1.0.xxx) DVD のブート時に、 コンソールが表示されます。

Welcome to Cisco ISE To boot from the hard disk press <Enter> Available boot options: [1] Cisco Identity Services Engine Installation (Monitor/Keyboard) [2] Cisco Identity Services Engine Installation (Serial Console) [3] Reset Administrator Password (Keyboard/Monitor) [4] Reset Administrator Password (Serial Console) <Enter> Boot from hard disk Please enter boot option and press <Enter>.

boot: 1

初期セットアップを実行するには、モニタとキーボード ポートまたはコンソール ポートのいずれかを 選択できます。

ステップ4 システム プロンプトで、1 と入力してモニタとキーボード ポートを選択するか、2 と入力してコンソー ル ポートを選択し、Enter を押します。

これで、VMware システムへの Cisco ISE ソフトウェアのインストールが開始します。

(注) インストール プロセスが完了するまで、20分かかります。

インストール プロセスが終了すると、仮想マシンは自動的に再起動されます。

VM の再起動時に、コンソールに次のように表示されます。

Type 'setup' to configure your appliance

localhost:

ステップ5 システム プロンプトで、setup と入力し、Enter を押します。

セットアップ ウィザードが表示され、ウィザードに従って初期設定を実行します。セットアップ プロ セスの詳細については、「セットアップ プログラムのパラメータについて」(P.3-3) を参照してくださ い。

シリアル コンソールを使用した Cisco ISE VMware サーバ への接続

シリアル コンソールを使用して Cisco ISE VMWare サーバに接続するには、次の手順を実行します。

- ステップ1 特定の VMware サーバ (たとえば ISE-120) の電源をオフにします。
- ステップ2 VMware サーバを右クリックし、[編集(Edit)]を選択します。
- ステップ3 [ハードウェア(Hardware)]タブを選択し、[追加(Add)]をクリックします。

lardware Options Resources			Virtual Machine Version: 7
Arriver Options Resources Image: Show All Devices Image: Show All Devices Hardware Image: Show All Devices Image: Show All Devices Image: Show All Devices Image: Show All Devices Image: Show All Devices Image: Show All Devices Image: Show All Devices Image: Show All Device Image: Show All Device Image: Show All Device Image: Show	Add Remove Summary 4096 MB 1 Video card Restricted Client Device [Storage1] ise-1.1.0.37 VM Network SPAN LSI Logic Parallel Virtual Disk	Memory Conf 255 GB 128 GB 64 GB 32 GB 16 GB 4 GB 4 GB 2 GB 1 GB	Wirtual Machine Version: 7 iguration Memory Size: Maximum recommended for this guest OS: 64 GB. Maximum recommended for this guest OS: 256 MB. Minimum recommended for this guest OS: 32 MB.
		512 MB - 256 MB - ◀ 128 MB - 64 MB - 32 MB - ◀	
Неір		8 MB - 4 MB	OK Cancel

ステップ4 [シリアルポート (Serial Port)]を選択し、[次へ (Next)]をクリックします。

🛃 Posi - Virtual Machine Prop	erties		
Hardware Options Resources			Virtual Machine Version: 7
C 🛃 Add Hardware			
Ha Device Type What sort of device do y	ou wish to add to your virtual machin	97	
Ready to Complete:	Choose the type of device you w	ish to add.	
Help	1	< Back Ne	xt > Cancel
Help			OK Cancel

ステップ5 シリアル ポート出力の場合は、[ホストで物理シリアル ポートを使用する (Use physical serial port on the host)]を選択します。[次へ (Next)]をクリックします。

🛃 Add Hardware	
Serial Port Type What media should thi	s virtual serial port access?
Device Type Select Port Type Select Physical Port Ready to Complete	Select the type of media you would like the virtual serial port to access. Serial Port Output Use physical serial port on the host Output to file Connect to named pipe
Help	< Back Next > Cancel

- **ステップ6** ポートを選択します。次の2つのいずれかのオプションを選択できます。
 - /dev/ttyS0 (DOS または Windows オペレーティング システムで、これは COM1 として表示されます)。
 - /dev/ttyS1 (DOS または Windows オペレーティング システムで、これは COM2 として表示されます)。
- **ステップ7** [次へ (Next)]をクリックします。

<u>Device Type</u> Select Port Type	Select the physical port you would like to connect to this virtual serial port.
Select Physical Port	Physical Serial Port
Ready to Complete	Port /dev/tty50
	Connect at power on
	I/O Mode
	✓ Yield CPU on poll
	Allow the guest operating system to use this serial port in polled mode rather than in interrupt mode.

ステップ8 デバイスのステータスを確認します。これは[接続済み(Connected)]と表示されます。

rdware Options Resources			Virtual M	achine Version
Show All Devices	Add Remove	Device Status		
ardware Maarami	Summary	Connect at powe	er on	
Memory CPUs Video card Video card VMCI device Floppy drive 1 CD/DVD Drive 1 Network adapter 1 ScSI controller 0 Hard disk 1 Serial port 1	4096 MB 2 Video card Restricted Client Device [Storage1] ise-1.1.0.3 Virtual Machine Network LSI Logic Parallel Virtual Disk /dev/tty50	Connection Use physical series Jdev/tty50 Use output file: Use named pipe: Pipe Name: Near End: Far End:	al port:	owse,
		I/O Mode I♥ Yield CPU on poll Allow the guest o port in polled mor	operating system to use the de (as opposed to interru	nis serial at mode).